

「ぶんごおおので

ゼロからはじめる農業（ピーマン）」

●豊後大野市のピーマン経営の特徴

研修生3組6名募集中

豊後大野市は、大野川及びその支流河川の豊かな水利を利用した水田地帯と県内屈指の基盤整備された畑作地帯を有しています。夏秋ピーマンの栽培技術の習得を目的とした就農学校「インキュベーションファーム」を開設し、毎年3組の研修生を募集しています。これまで22組44名が就農しています。比較的初期投資が少なく、平均単価の安定したピーマンで就農してみませんか。

・豊後大野市夏秋ピーマンの栽培概要と特徴

- ◆豊後大野市の野菜販売額 約15億円のうち約5億円を売り上げる主力品目。（令和3年実績）
- ◆生産者数及び出荷量、販売額ともに市内最多
- ◆3m間口の簡易パイプハウスを利用した栽培方法。比較的初期投資が少く、労働環境が安定。
- ◆栽培技術の習得が比較的容易で、平均単価が安定。
- ◆3月から10月末にかけての農繁期は、ハウス及び苗を管理しながらピーマンを収穫
収穫は5月から10月末が最盛期
- ◆11月から2月までの農閑期は、畑の片付けや土づくりが主。農業経営者として確定申告の準備。

複合品目の紹介 ・スイートピーや甘藷、白ネギ、ちぢみほうれん草、ヤマジノギク栽培

●ピーマン栽培のスケジュール

品目名/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(ピーマン)		土づくり	定植					収	穫			片づけ

●就農までの流れ

就農学校から就農の場合 2年



就農学校以外から就農の場合 1年



就農5年目の経営目標

- ◆品目・規模・収量(単収/10a)
 - ・ピーマン 15a 22t (15t/10a)
- ◆従事者
 - ・家族 2人
 - ・雇用 2人(6月～10月)※必要に応じて
- ◆販売額・所得
 - ・販売額 720万円
 - ・所得 396万円

・単収増加

・複合品目栽培開始

就農10年目の経営目標

- ◆品目・規模・収量(単収/10a)
 - ・ピーマン 15a 27t (18t/10a)
 - ・スイートピー 6a 9万本(15万本/10a)
- ◆従事者
 - ・家族 2人
 - ・雇用 2人 ※年間を通じ必要に応じて
- ◆販売額・所得
 - ・販売額 1,136万円
 - ・所得 580万円

※減価償却費は所得に含む。

※経営目標はあくまでも目標であり、補償するものではありません。

●モデル経営体の紹介

氏名 塚越 功一（つかごし こういち）・悠（はるか）

経営概要

ピーマン	面積	13アール	単収	21トン
スイートピー	面積	6アール	単収	210,000本
構成員	2名			

就農6年目

経営理念

「基本技術が一番重要」

「基本を繰り返し実践することが大切」

メッセージ

豊後大野市の大地でピーマンを主力とした農業者を目指しましょう。



●私たちがサポートします

大分県農業協同組合ピーマン生産部会豊後大野支部

- ・部会員数 126戸
- ・産地面積 14.7ヘクタール

IPM（総合的防除及び雑草管理）
天敵栽培・高温対策・抵抗性苗の導入

豊後大野市インキュベーションファーム

- ・相談役 1名
- ・営農指導員 1名



生産部会研修の様子



インキュベーションファーム研修の様子

●豊後大野市の支援策

- ・農業研修制度(インキュベーションファーム研修)：募集期間 毎年1月から9月末まで
：研修期間 2年間(毎年1月から翌年の12月まで)
- ・新規就農者等への支援：担い手経営強化対策事業補助金(トラクター等) 担い手就農支援交付金
- ・子育て支援：未就学児及び小中学生医療費助成(中学生までの医療費無償化)
- ・移住関連の支援：空き家バンク制度を活用した空き家改修や持家取得助成金

●産地が求める人材

- ・ピーマンの生産を通じて「農家」を志向する方はもとより、
地域社会の一員として地域活動にも積極的に参画できる方
- ・インキュベーションファーム研修 研修生3組6名(研修開始時55歳未満)

●問い合わせ先

JAおおいと豊肥事業部 営農支援企画課
〒878-0026 竹田市大字飛田川2095-1
TEL:0974-63-1016 FAX:0974-63-4484

豊後大野市役所 農業振興課 担い手支援係
〒879-7198 豊後大野市三重町市場1200
TEL:0974-22-1001 FAX:0974-22-1426
メール:bo130020@city.bungoono.lg.jp
ホームページ:https://www.bungo-ohno.jp/

